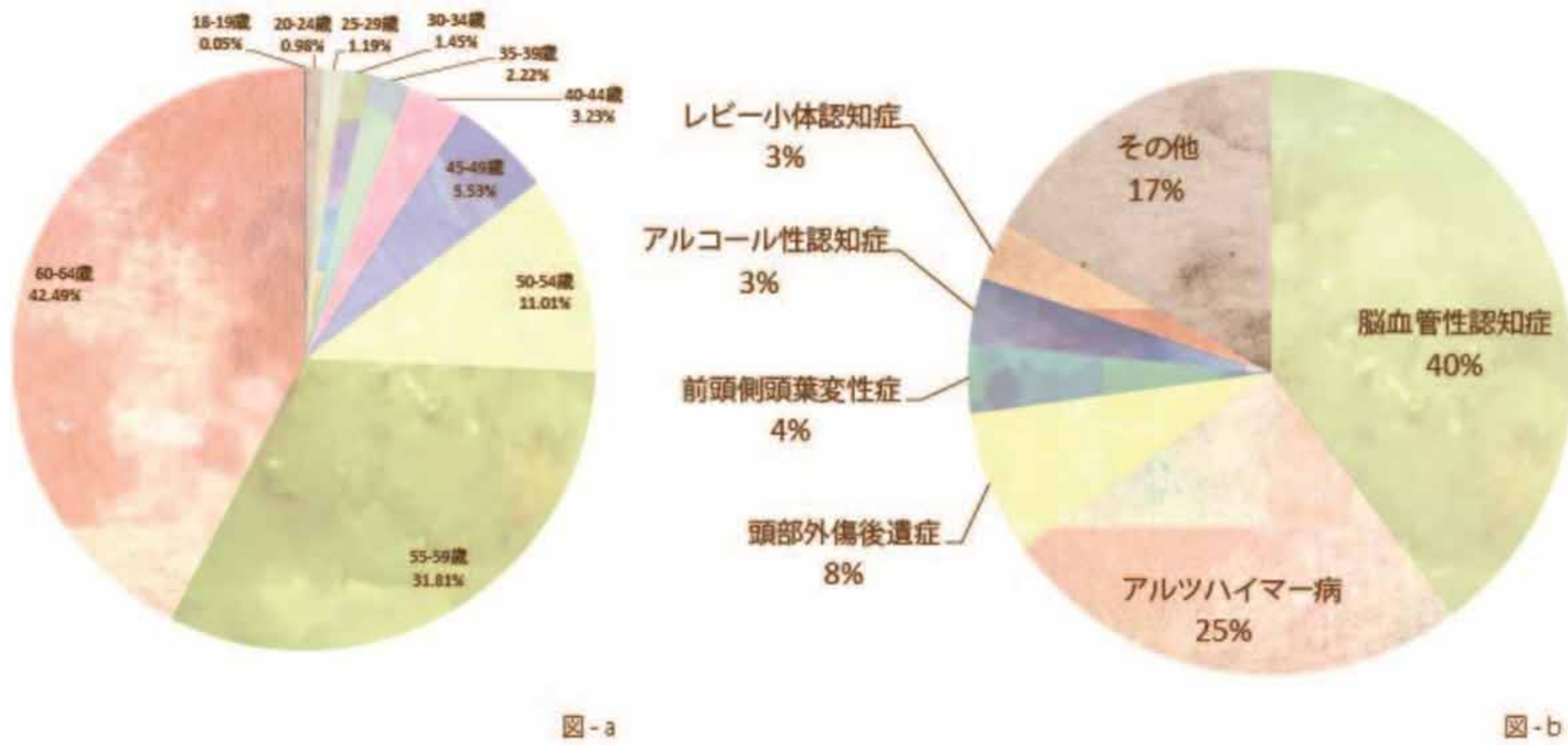


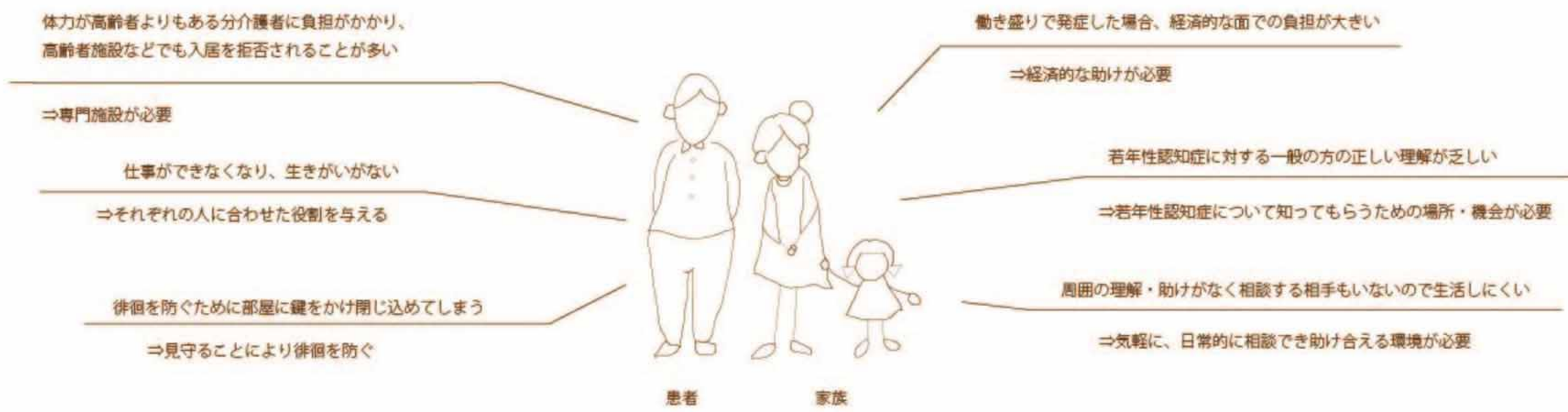
恩返しのゆりかご
—若年性認知症患者とその家族のための専門施設—



若年性認知症とは
 65歳以下で発症する認知症の総称で患者数は全国で約38,000人とされている
 高齢者の認知症は女性の患者が多い傾向にあるが、若年性認知症では男性の患者数が女性の患者数を上回る
 50代で発症するケースが最も多く、年齢別患者数(図-a)を見ても、50歳以上の患者数が全体の約85%を占めていることがわかる
 しかし一方で20代で発症する患者もいることがわかる。
 原因となる疾患は、脳血管性認知症、アルツハイマー病、頭部外傷後遺症、と続く(図-b)
 現在若年性認知症力患者のための専門施設はほとんどなく、在宅での介護を余儀なくされることも多い

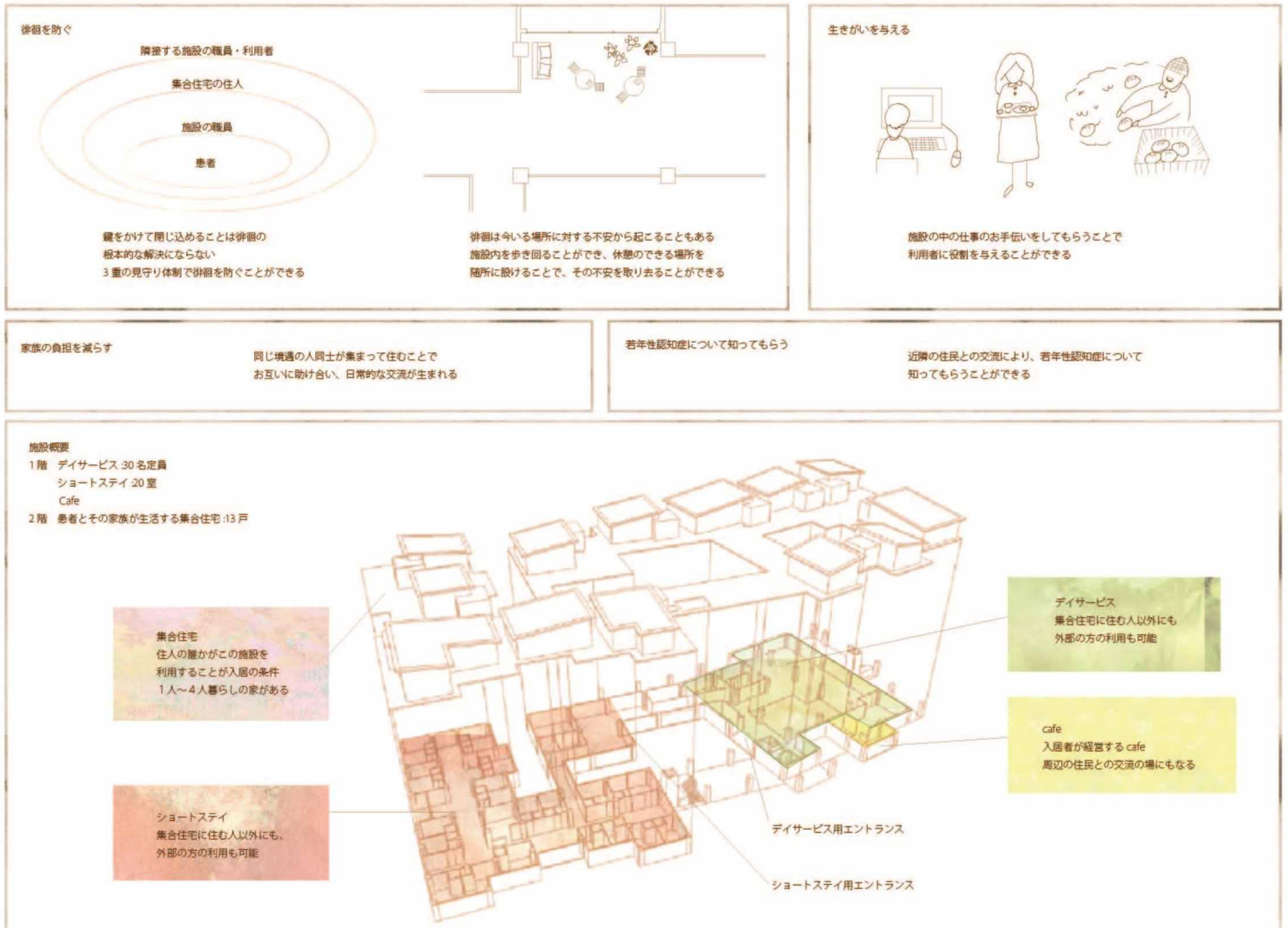


患者と家族が抱える不安、問題点



提案

若年性認知症の方の専門施設と、その家族が生活する集合住宅を計画する





一身田について

三重県津市の中央部に属する一身田は室町期に成立した寺内町であり、高田本山専修寺を中心として大きなお寺や町並みが残る環境に囲まれた町。それぞれの季節に合わせた祭り事などの行事も盛んに行われる。

敷地選定の理由

古くからの歴史的な建物が残る落ち着いた雰囲気は住む人に安心感を与え、四季折々に開催される行事は患者に季節の移り変わりを感じさせてくれる。また生活するうえで必要な商店、病院、銀行などの機関も徒歩圏内にあり車の運転が難しい若年性認知症の患者でも快適に暮らしていけると考えた。

敷地条件



面積：約 5,940 m²
 建蔽率：60%
 容積率：160%
 高さ制限：10m
 アクセス：
 JR一身田駅より徒歩約 10 分

周辺写真



形態ダイアグラム

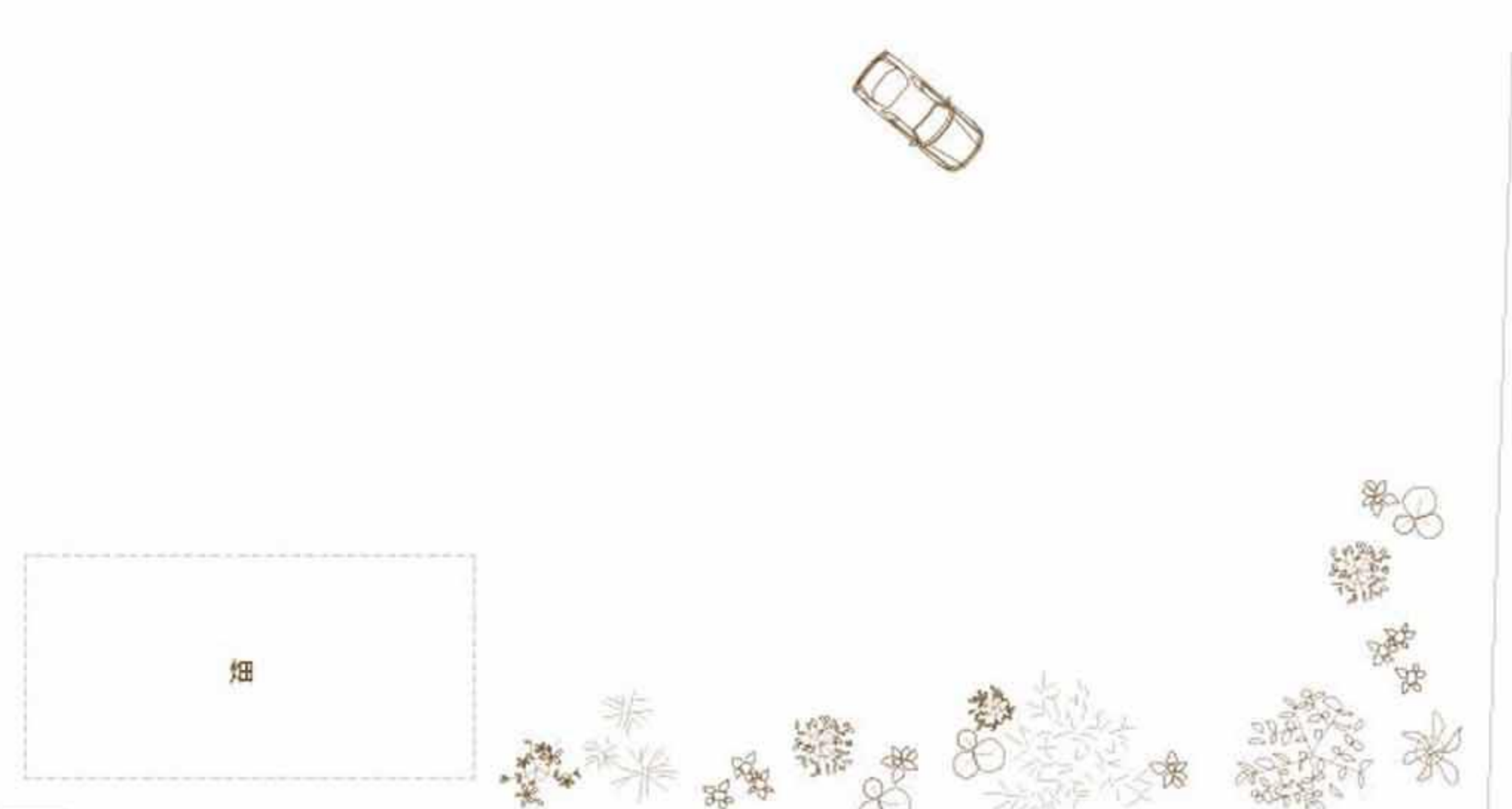
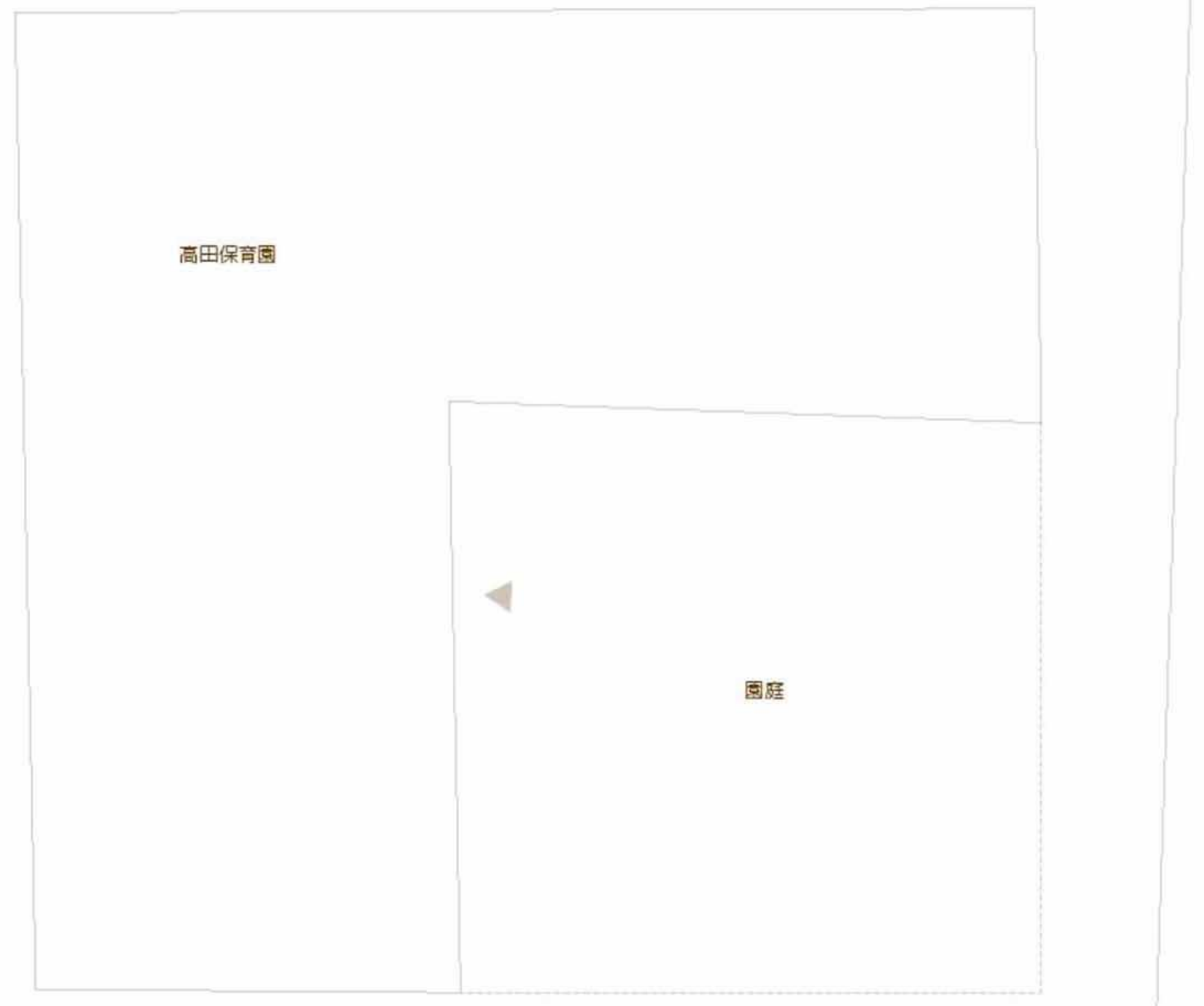
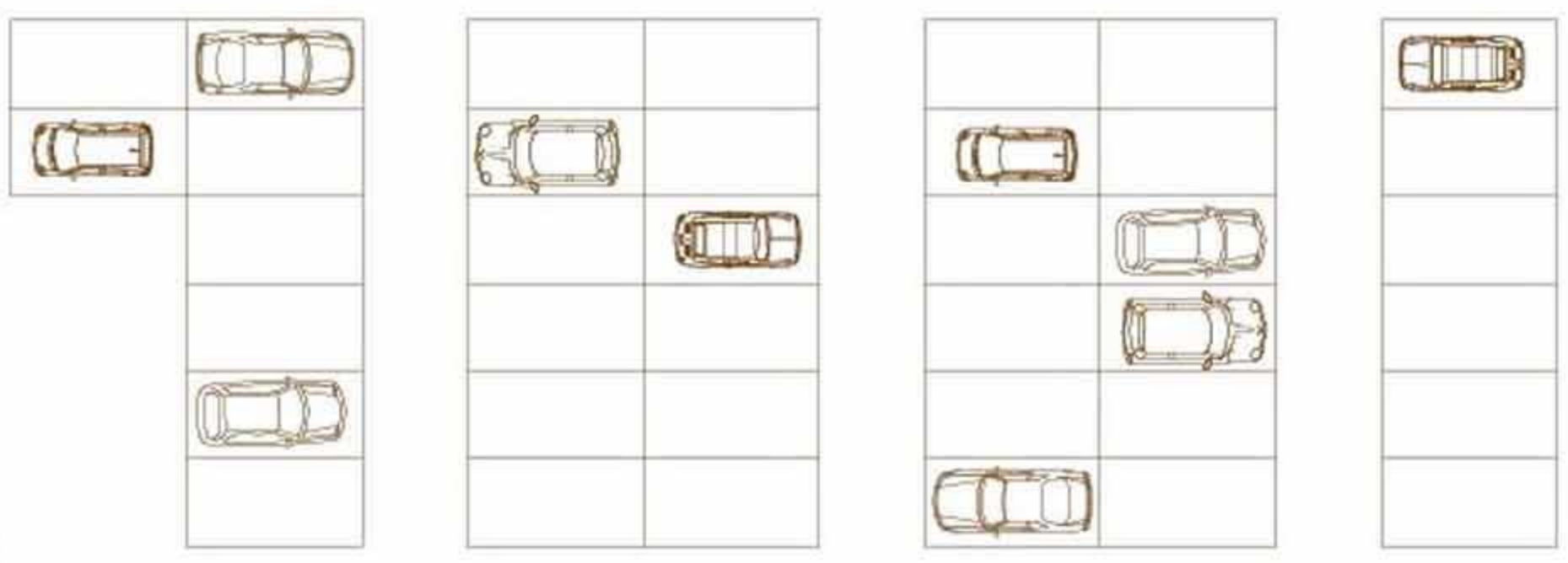


敷地に沿わせ形

周囲の2つの施設(保育園・高齢者ケアハウス)と繋がりを持たせるように中央部をくり抜くことで共有の外部空間を持つ

中庭を設けることで施設内に回遊性が生まれる

周囲の一身田の小さな家々が並んでいる街並みを考慮し建物に凹凸をつけるすると建物内部にも凹凸が生まれ、個性を持った空間となる

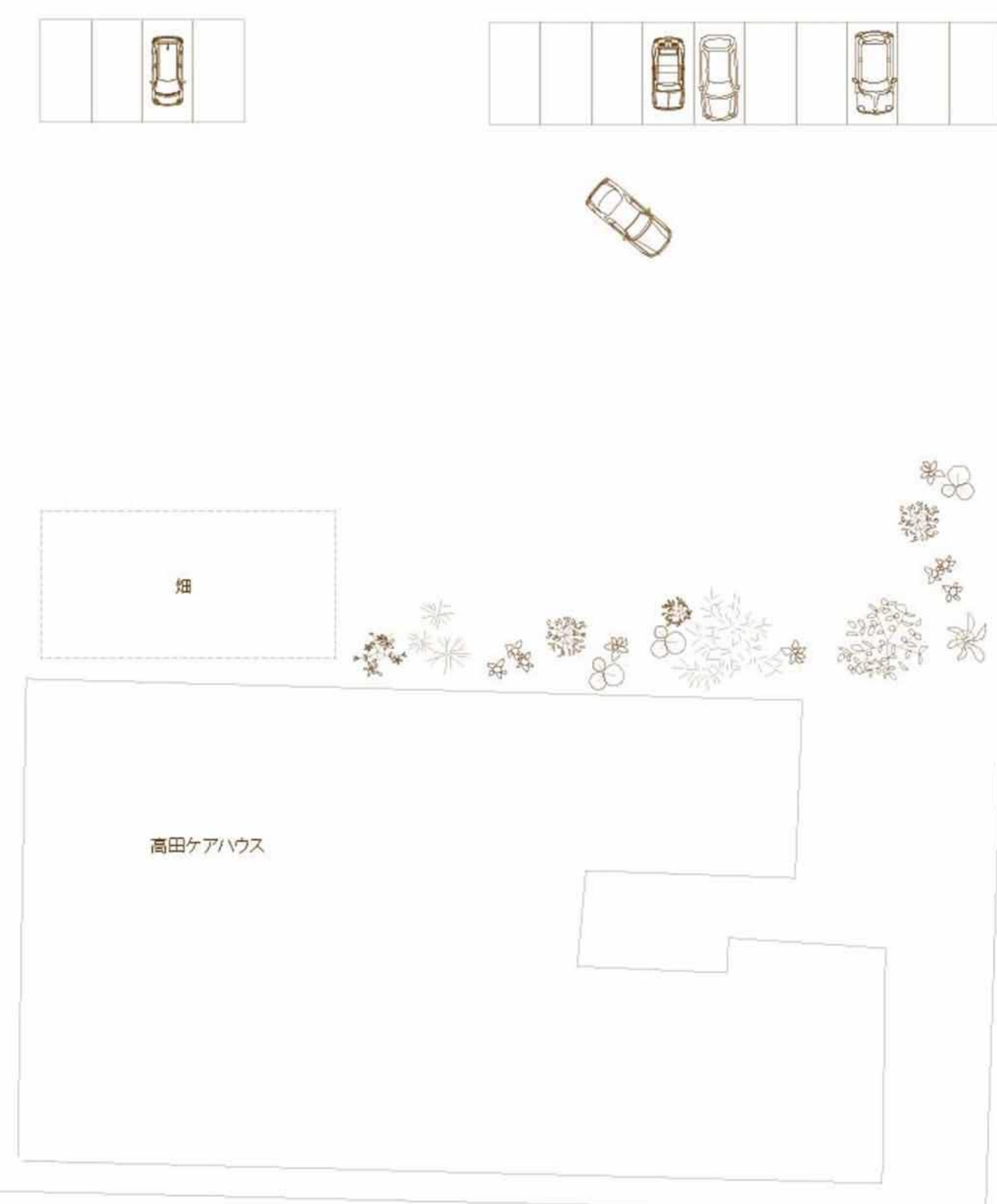
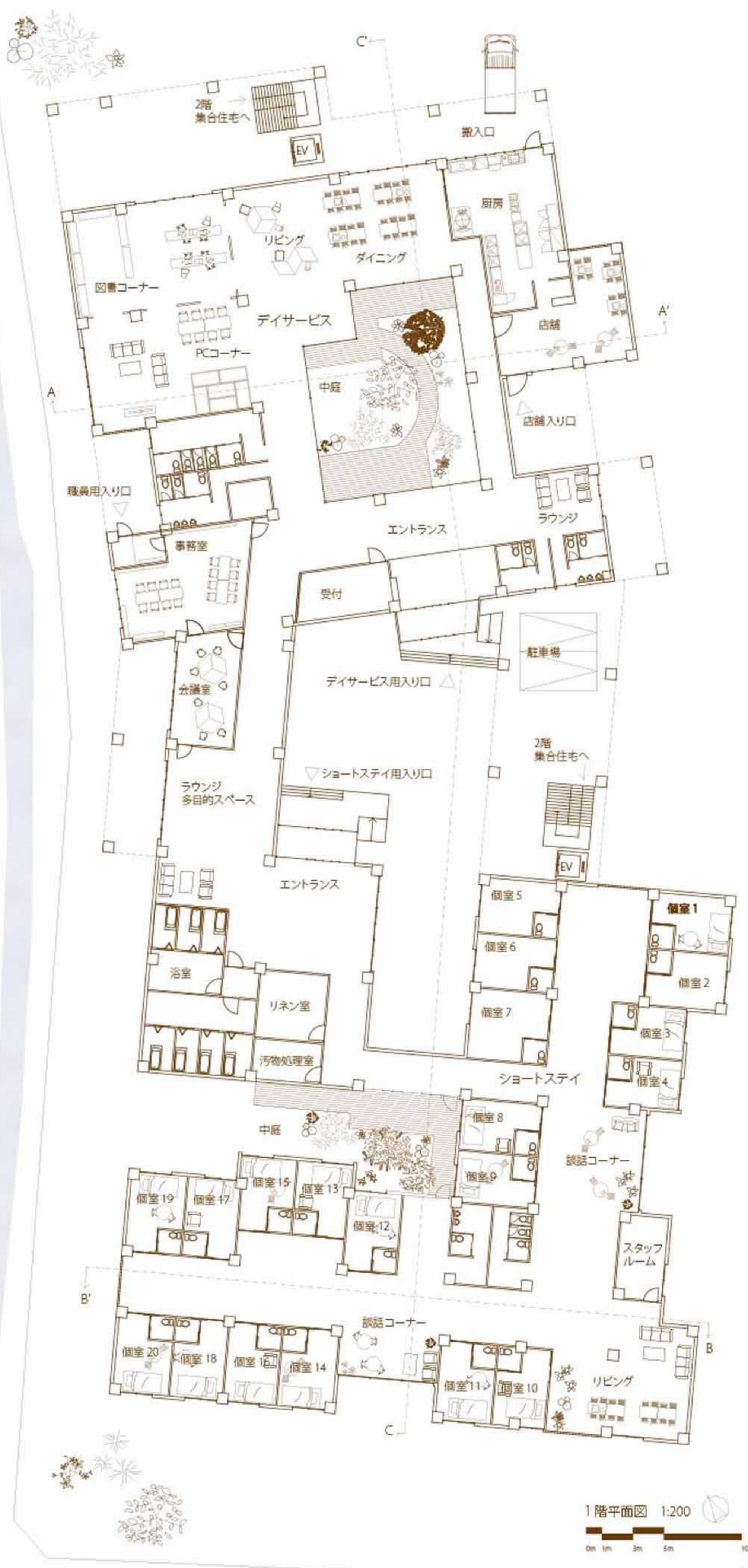
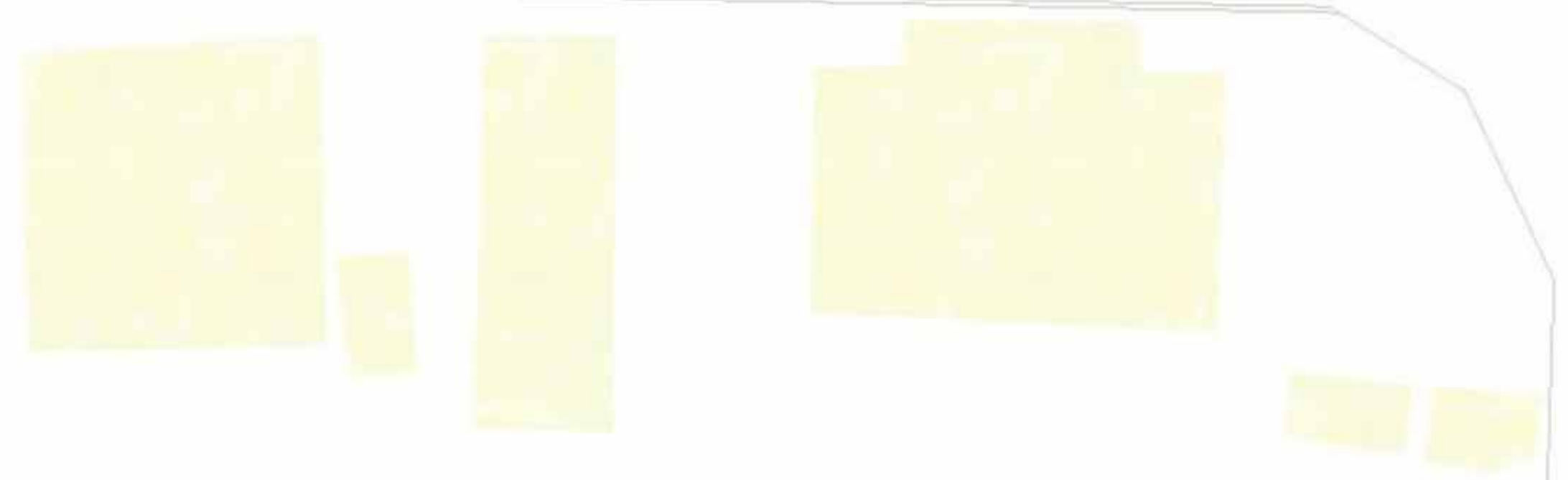
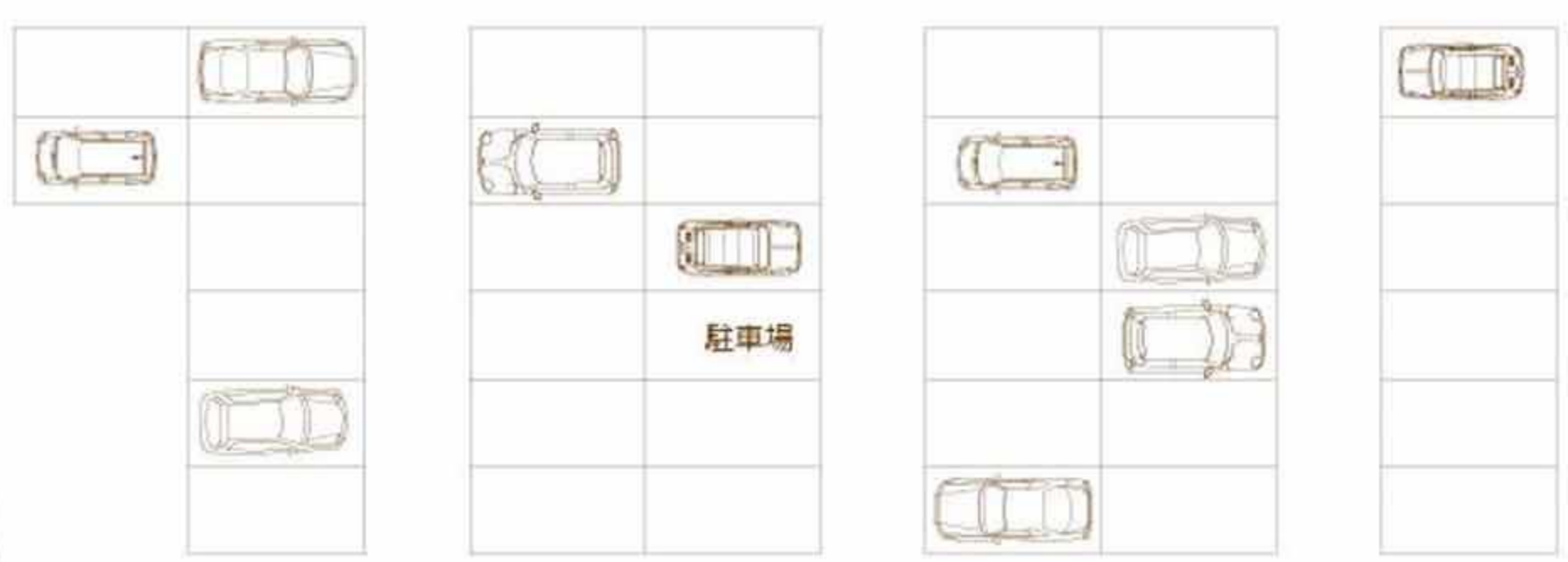


面積一覧

建築面積: 約2,440㎡

延べ床面積: 1階	サービス部門	約660㎡
	ショートステイ部門	約950㎡
	店舗	約60㎡
	管理部門	約230㎡
	ウッドデッキ	約90㎡
	計	約1,990㎡
2階	住宅部分	約830㎡
	計	約2,410㎡
計		約4,400㎡

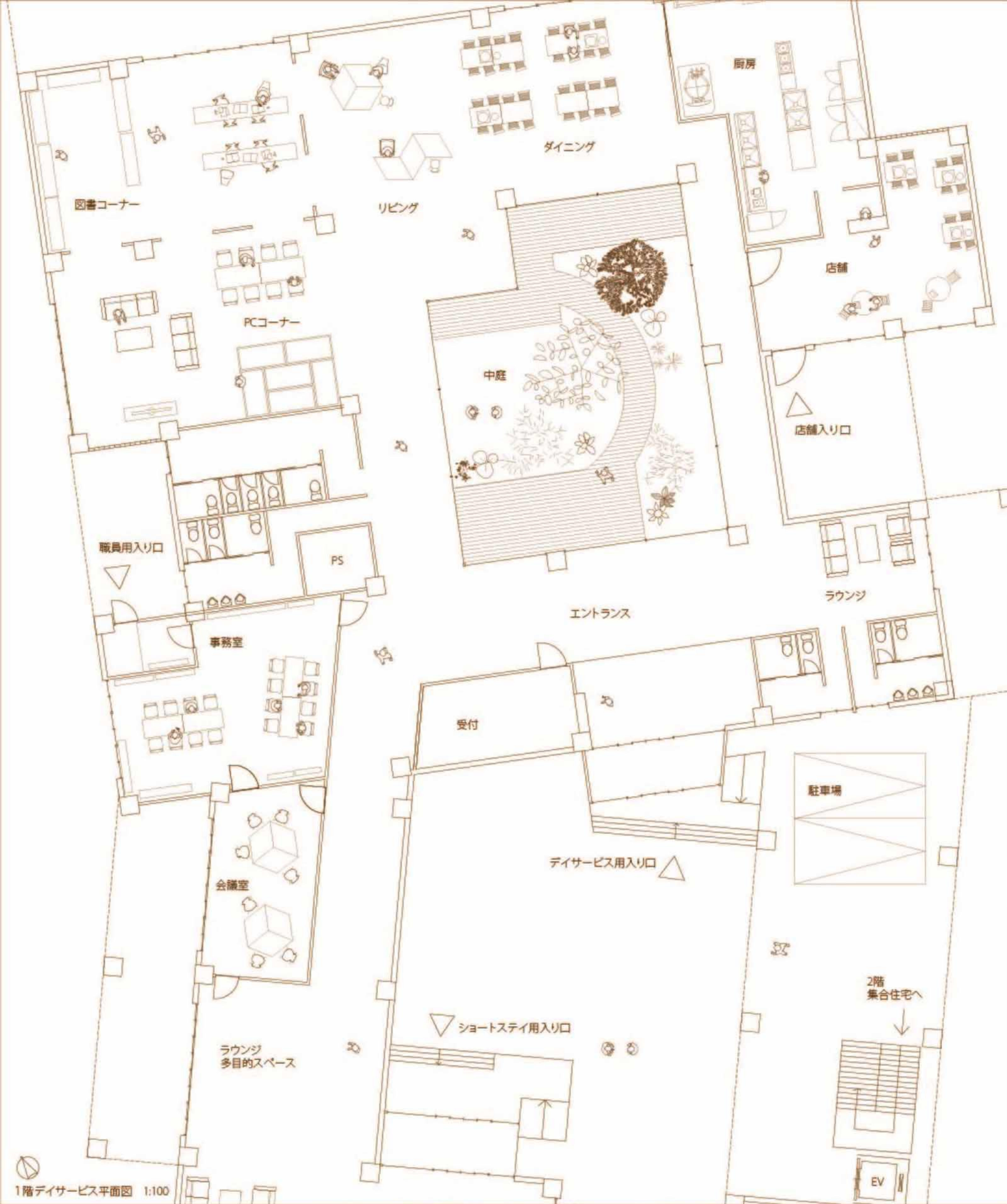




保育園、ケアハウスと共有の外部空間
運動会などの行事に使われたり共有の畑もあるので施設間の交流が生まれる



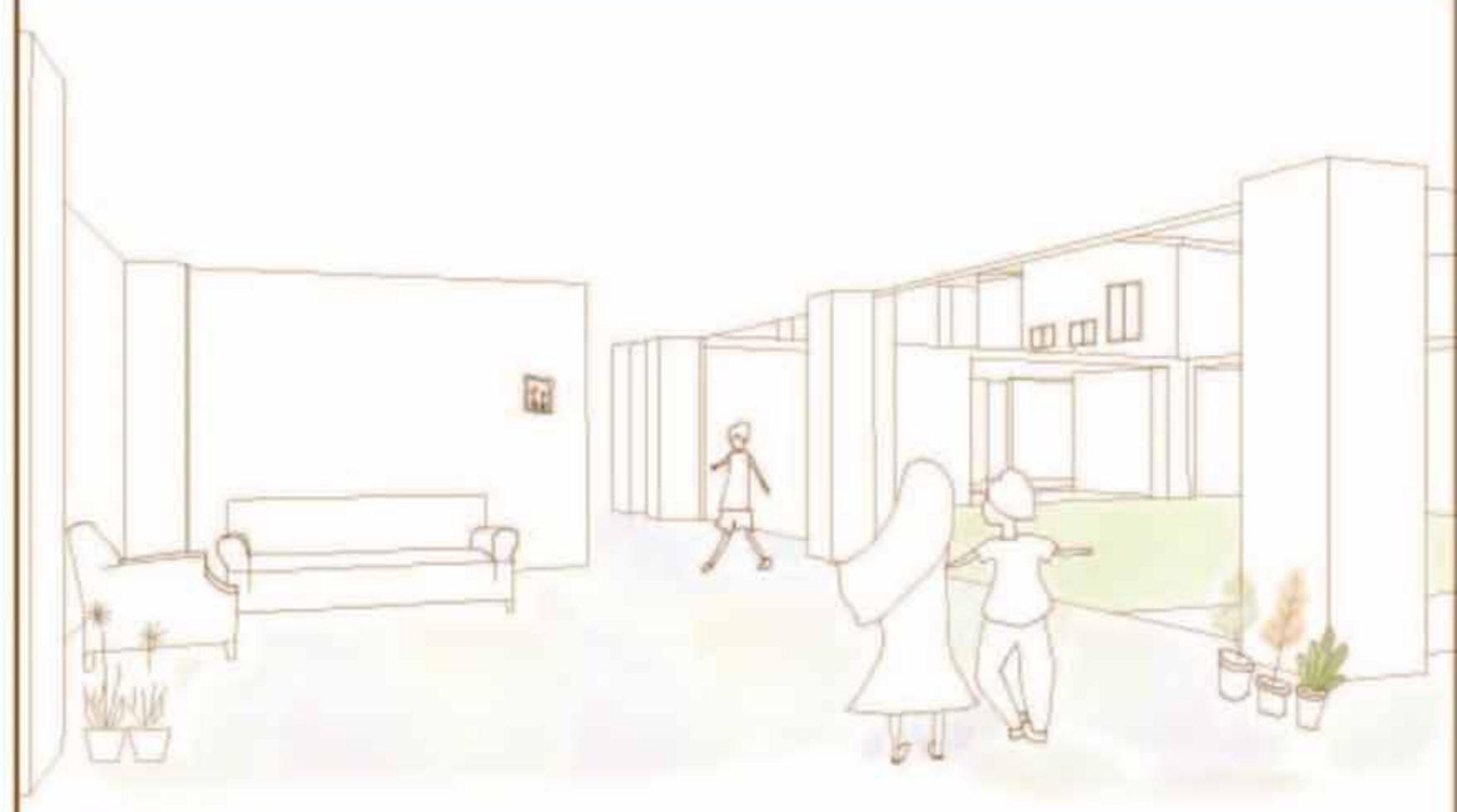
入居者が経営の手伝いを行う Cafe
施設の利用者以外にも隣接する高齢者ケア施設の利用者や保育園の送り迎えの保護者など、近隣住民との交流の場にもなる



デイサービス リビングスペース
図書スペースの部分を壁で囲むことで大きい空間と区切られた落ち着いた空間をつくることにより様々な性質の空間が生まれる



中庭
中庭を中央に配置することで緑や日の光を与えるだけでなく回遊性が生まれ歩き回ることができるようになる
また、こまめに休憩がとれるようにいすやソファを点在させる



多目的スペース
利用者の体操などの運動、音楽会や講演会などの行事にも使える
近隣住民の利用も可能
普段はデイサービスとショートステイの利用者間の交流の場としても使うことができる

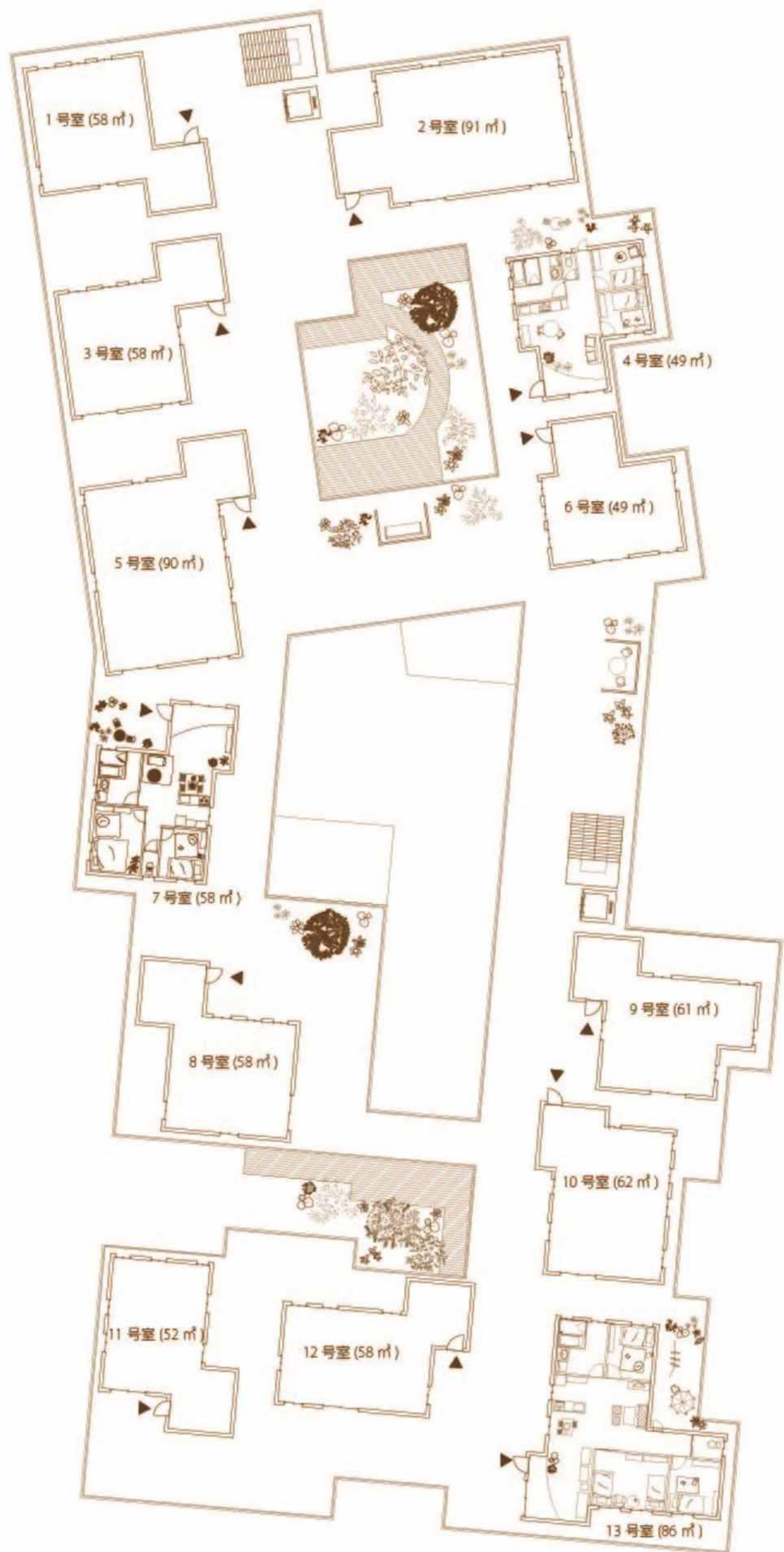


ショートステイ リビングスペース
利用者が1日中部屋に閉じこもらないように、個室の設備は必要最低限とし、リビングや談話スペースを広くとったリビングはショートステイ利用者の食事の場としても使われる
こちら側にも中庭を設け、内側の部屋の景色もよいものとなる



施設でのそれぞれの1日

<p>CASE 1 2人暮らし 50代 男性+妻</p>	<p>近所から通所 デイサービス利用 元会社員</p>	<p>9:00 入所</p>	<p>12:00 昼食</p>	<p>14:00 PCで施設の新聞づくりのお手伝い</p>	<p>17:00 退所</p>
<p>CASE 2 3人暮らし 40代女性+夫+息子</p>	<p>集合住宅に住む デイサービス利用 料理好き</p>	<p>9:00 入所</p>	<p>12:00 昼食</p>	<p>10:00 多目的スペースで体操</p>	<p>16:00 中庭を散歩</p>
<p>CASE 3 4人暮らし 60代男性+娘夫婦+孫</p>	<p>集合住宅に住む ショートステイ利用 体を動かすことが好き</p>	<p>10:00 入所</p>	<p>12:00 昼食</p>	<p>10:00 多目的スペースで体操</p>	<p>13:00 畑で野菜の収穫のお手伝い</p>



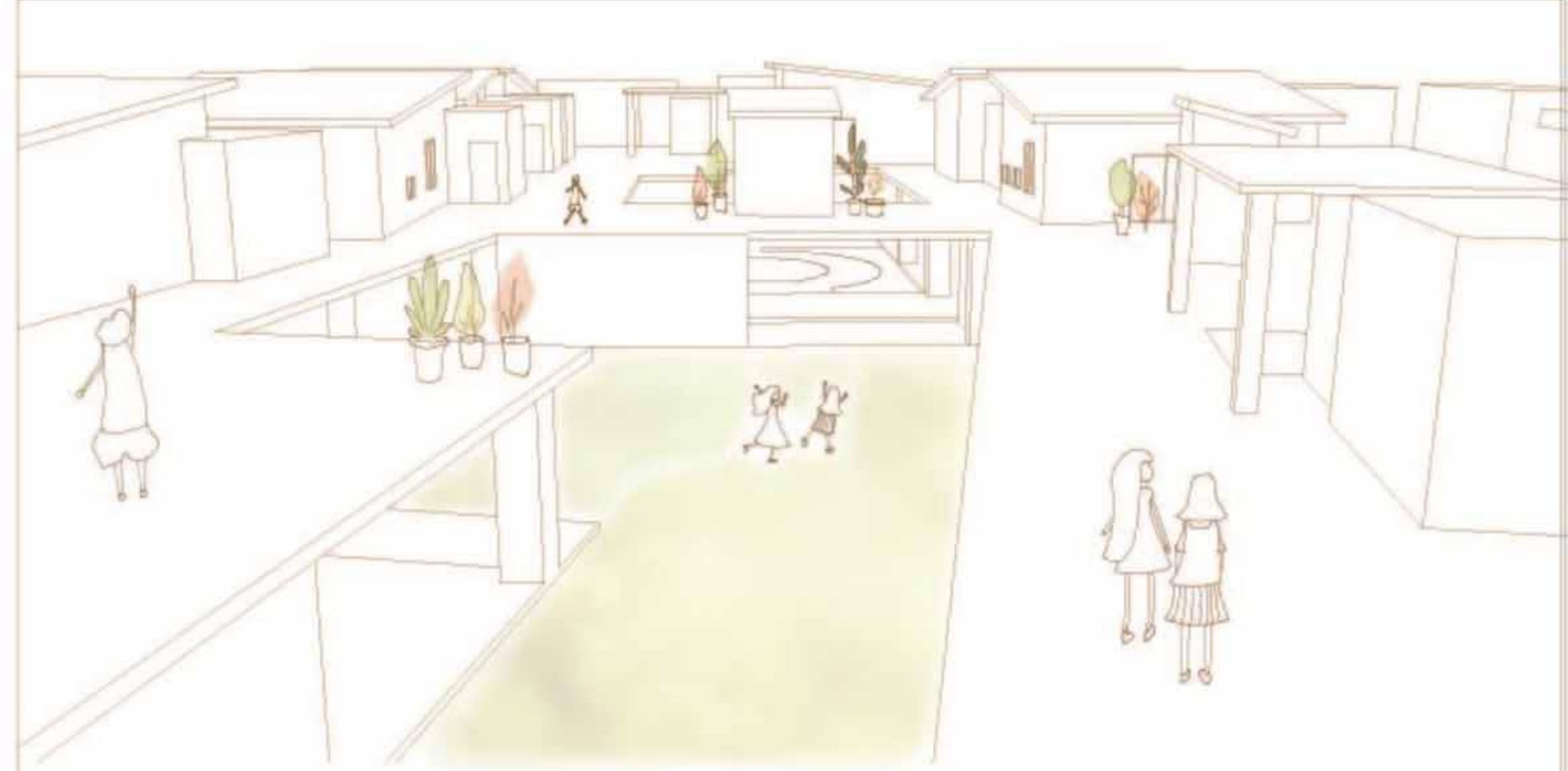
2階平面図 1:200



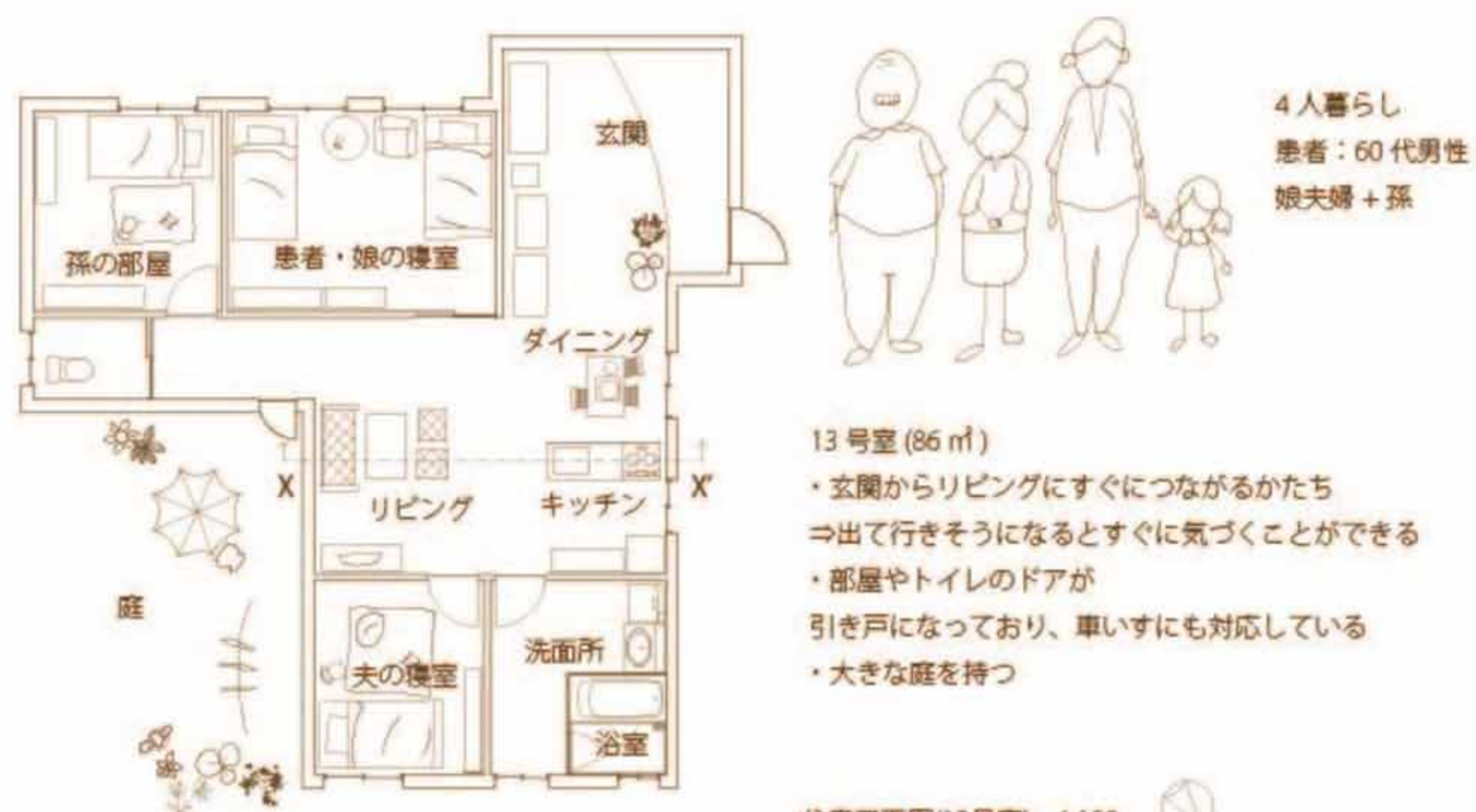
集合住宅に住む住民同士の交流の場となる小さな庭
3方向が壁に囲われた空間を設けることで外の世界と区切られたような特別な空間をつくることができる



それぞれの住宅が持つ庭も通路を通る人から見えることで、お互いに見守られながら生活することができる



2階からデイサービス用のエントランスを見る
集合住宅からもエントランスの出入りが見えることで見守りの強化につながる



4人暮らし
患者：60代男性
娘夫婦＋孫

- 13号室 (86 m²)
- ・玄関からリビングにすぐにつながるかたち
⇒出て行きそうになるとすぐに気づくことができる
 - ・部屋やトイレのドアが引き戸になっており、車いすにも対応している
 - ・大きな庭を持つ

住宅平面図(13号室) 1:100



2人暮らし
患者：50代男性
妻

- 4号室 (49 m²)
- ・玄関からリビングにすぐにつながるかたち
 - ・リビングから全ての部屋のドアが見えるので家の中で迷ったりすることがない
 - ・パブリックな庭を持つ
⇒住人同士の交流の場にもなる

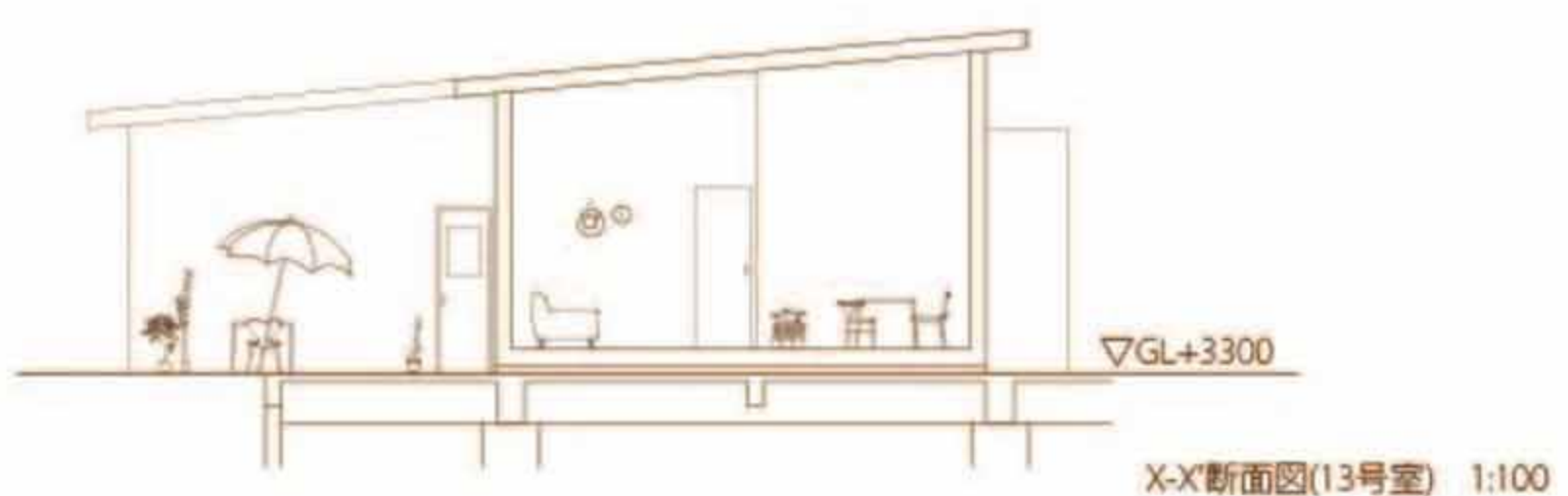
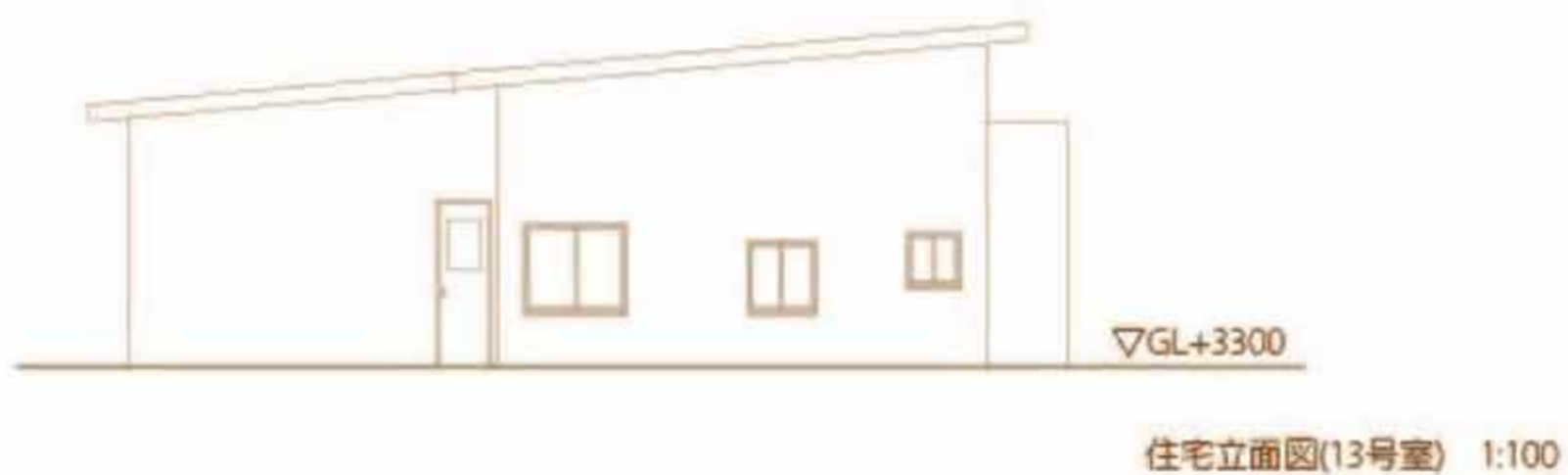
住宅平面図(4号室) 1:100

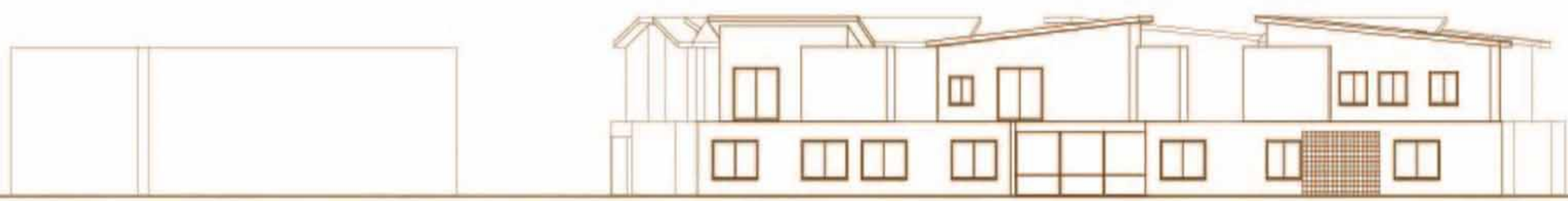


3人暮らし
患者：40代女性
夫＋息子

- 7号室 (58 m²)
- ・部屋を出るとすぐにリビングがあるので家族の目が届く
 - ・自室、庭、リビングと居場所となる場所が複数あることで気分に合わせて様々な場所で過ごすことができる

住宅平面図(7号室) 1:100





▽GL

南側立面図 1:200



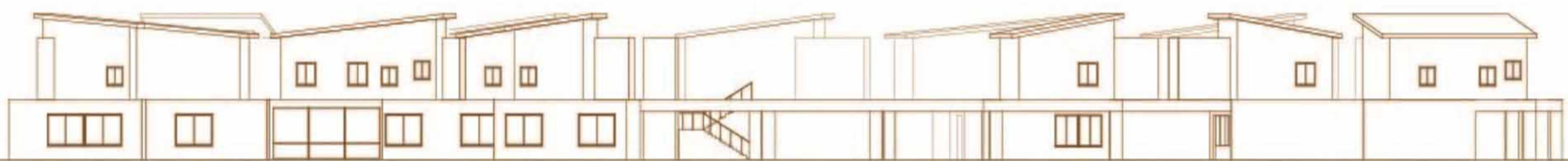
▽GL

北側立面図 1:200



▽GL

西側立面図 1:200



▽GL

東側立面図 1:200



▽GL

A-A 断面図 1:200



▽GL

B-B 断面図 1:200